

災害時に役立つ情報を提供！ 津波ハザードマップの全戸配布および災害情報ホームページ多言語化

災害時に適切な避難行動ができるよう、津波ハザードマップの全戸配布と災害情報のホームページ多言語化対応を行います。

1 津波ハザードマップ

(1) 内容と目的

津波ハザードマップは令和 6 年能登半島地震の際の地域の意見を参考に、避難指示などの対象を明確化したもので、広報かしわざき 7 月号配布時に全戸配布します。

A1 版両面印刷の津波ハザードマップを全戸配布することで、全市民に津波災害警戒区域や浸水想定エリア（津波ハザードマップ上のピンクやオレンジ色などの区域）の事前確認を促します。津波災害について正しく理解することにより、適切な避難行動がとれるようになることを目指します。

(2) 配布対象

- ・市内全世帯 約 32,600 世帯
- ・各コミュニティセンター31 カ所（西山総合体育館、西山町いきいき館含む）

(3) 主な記載内容

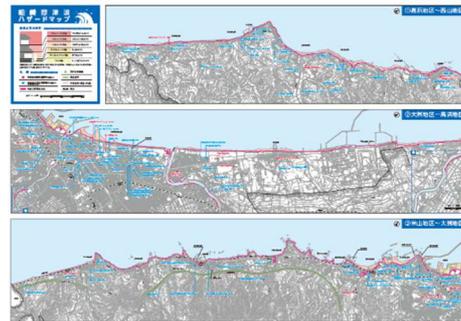
- ・津波ハザードマップの見方
- ・適切な避難行動や災害時の情報収集方法、地域別の取るべき行動
- ・津波災害時における避難場所と優先開設避難所一覧など

(4) 今後の予定

今回配布する内容を反映させた防災ガイドブック（自然災害編）を令和 7 (2025) 年 3 月までに改訂します。津波災害や地震、風水害、土砂災害など、すべての災害に共通する項目やそれぞれの個別災害に対する対応などを記載します。全戸配布を行い、自然災害に対する正しい理解や避難行動の周知を図ります。



津波ハザードマップ 表面



裏面

2 災害情報ホームページの多言語化対応

(1) 概要と目的

災害時に、市が発信している避難情報や避難所情報、防災行政無線の内容を外国人の方にも確実にお届けするため、災害情報のホームページを 133 カ国語に翻訳できる機能を 7 月 1 日（月曜日）から追加しました。

外国人の方が災害時に正しい情報を得て避難行動ができるようにするとともに、日本人の方が外国人の方を支援する際に利用していただきたいと考えています。

(2) 内容

英語、中国語、韓国語、ポルトガル語に翻訳ができます。これ以外の言語に翻訳する場合は、「Other Languages（その他の言語）」ボタンをクリックしてください。

グーグル翻訳機能を利用しているため、133 カ国語に対応します。

・PC 版



・モバイル版

